

Title	前号目次 奥付 通知
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1939
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.33, No.3 (1939. 3)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19390301-0138">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19390301-0138</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 前號(第三十三卷)目次

●わが國對外經濟政策の決定における  
社會的並に政治的要因

加田 哲二

●部分と全體

寺尾 琢磨

——試料に於ける誤差の本質——

●軍擴財政論

永田 清

——軍備擴張の過程とその經濟的作用の分析——

●A. Schnettler; Das Rechnungswesen  
industrieller Betriebe. Berlin 1938

小高 泰雄

●H. Guillon—Economie Rationelle,  
Economie positive, Economie  
Synthétique. 1938.

寺尾 琢磨

●「布哇—島嶼社會の社會生態的研究」

奥井復太郎

●一冊定價金五拾錢  
●半年分金貳圓九拾錢  
●一年分金五圓四拾錢

郵税金壹錢五厘  
郵稅共

●編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛  
●營業に關する用件は發賣元宛  
●原稿締切期日は發行の前月十日限

昭和十四年二月廿八日印刷納本  
昭和十四年三月一日發行  
行 每月一回一日發行

三田學會雜誌

禁轉載

第三十三卷 第三號

編輯者 東京市芝區三田二丁目二番地慶應義塾內  
發行所 江田 範 保  
東京市赤坂區新町五丁目四十二番地  
印刷者 金子 鐵 五 郎  
東京市赤坂區新町五丁目四十二番地  
印刷所 子活版所

發賣元

東京市芝區三田二丁目一番地  
丸善株式會社三田出張所

●尙ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す

電話三田(45) 二九二六番  
一八九二七番  
振替口座東京 二八五二番

發行所

東京芝三田  
慶應義塾內

理財學會

振替

座

慶應義塾

塾

芝區三田二ノ二  
東京一八二〇四番

會學法學大國帝都京

叢論學法

號三第 卷十四第 號月三 月三年四十一和昭

論說・資料

破産制度及破産法の將來……………齋藤常三郎

—改正會社法の整理及特別清算に關聯して—  
不統一法國に屬する外國人の本國法適用……………齋藤武生

抵當權の實行と債務名義……………小野木常

ゴルトシュミットの行政犯理論(二完)……………須貝脩一

羅馬法に於ける時効制度の一斷面……………風間鶴壽

批評と紹介

シュウイング『獨逸法律學に於ける非合理主義と全體性的觀察』……………佐伯千仞

リヤザノフスキー『元朝に於ける蒙古法及支那法』……………小早川欣吾

ジェングラー『國際法優位理論の研究』……………田畑茂二郎

判例研究

〔民事法〕 賃貸人の所有に屬せざる土地と賃借人の不當利得……………石田文次郎

會社と取締役との取引と監査役の承認……………大隅健一郎

雜報

冊中一  
金五分  
郵分

錢貳圓  
稅金六

發行所  
所賣發

東京

京都

會學法學大國帝都京

會閣

今回理財學會では三田學會雜誌の配給を一定方法に依る事に決めました。その方法としては切符と引換に學會雜誌を配給するのが最も妥當と思はれます。蓋し此の方法の下に於ては種々なる煩勞が少くなり同時に意識的たりと無意識的たりとを問はざる不正手段を防遏する事が出来るからです。

具體的方法としては雜誌發行月(例へば四月)より三ヶ月以内に引換を行はぬ場合は前記發行月(四月)の雜誌の給付を受ける事は出来ません更に係委員の認印無き場合及び交付前に切離した切符も無効とします。

猶切符を紛失しても二冊目は差上げませんからその點吳々も御注意下さい。

理 財 學 會